



日刊 日十二月七
日刊 日十二月七
日刊 日十二月七
日刊 日十二月七
日刊 日十二月七
日刊 日十二月七
日刊 日十二月七
日刊 日十二月七
日刊 日十二月七
日刊 日十二月七

今日から愈よ本訓練 物凄く空襲の警報

市内十ヶ所に瓦斯弾の投下 各班の目ざましい活動

去る十八日から全市民の緊張で演習に入りたる本市に於ける空襲の警報は昨十九日夜に及ぶ家庭防空隊その他の警行訓練で今日より更に本訓練に移つた當日は主として瓦斯弾投下の敵機襲來を假装し市内十ヶ所に投じられる爆撃に備へた警防隊各部各班並びに家庭防空隊の出動要意に對し午前九時第一回の空襲警報の發せられ物凄くサイレンや警鐘の鳴り響く中に防務班、救護班その他あらゆる防空機關の目ざましい活動を行はれたが前記十ヶ所の爆撃投

平警防班の活動状況視察

東鐵の指導員出張平警防班は今日二十日から本訓練となつた防空演習に東京鐵道局運輸事務所の指導員數名を連日午前九時の敵機襲來より鐵道別個に燒夷彈、瓦斯彈の投下に次いで十一時半には催涙彈を投下された。マスク装着の同警防班に於ける活動の夜に及ぶまで演習した

壯年團中央協會の講師の講演は延期

壯年層總出の防空演習にて 八月中旬頃開催の意向

本市に於ける壯年相互が自己の年齢的持場に活躍すべく同志相寄るの創設が最近盛んに模索しつゝある機運に對し中央協會から常任理事下村虎六郎、常任幹事鈴木徳一兩氏を呼び來る二十日夕市内マールトモ樓上に講演會を開催して同團の必要性と其の指導精神を充分に知得しやう計畫あるは既報したが同會の開催が壯年層殆んど總出の防空演習

時局映画の講演の夕

廿三日公會堂で
平郵便局及び平市と飯野、神谷、高久一市三ヶ村の國防愛國婦人會並びに各種團體聯合主催「時局映画と講演の夕」は来る二十三日午後七時から平市公會堂に於て催されるが右は百餘府著達成の爲め國民の

戦地の便り

民家に交叉する 日章旗と五色旗

此の度横川と云ふところ即ち私達の〇〇地は今や五色旗と日章旗とが交叉され此の一家の和やかさを思ふの時皇軍の誇りと満悦とを禁し得ません、次に國際情勢即ち歐州方面に於ける

満洲農業 夏季大學へ

湯本實校吉田教授
石城郡湯本町實業専修學校教授吉田正徳氏は富民協會主催拓務省及び滿洲國政府並に東日接の第十回農業夏季大會が来る八月一日から十九日まで滿洲國の現地に移動的に開催される講習生として本縣知事から推薦された縣下七名より選ばれた三名に上げられ八月一日敦賀出帆同地に向ふと

支那語

つま楊子のことやキチエール、電氣は同じく電氣と書くがチイエンチー、瓦斯も同一文字だがワース、暖爐のことは煤と書いてメー、木炭は炭でタンと呼ぶ

努力を促すと共に戦線と戦後を繋ぐ重要な役割をもつ軍事郵便を一般に知らしめんとするもので多数の入場を歓迎されてゐるがプログラム左記の如くである

▲宮城道雄其他 講演 軍事郵便に就て(平市長) 附寄獎勵に就て(平市長) ▲映畫 君が代の由來 軍事郵便 國民進軍歌 興亞の礎 小國民 子供サーカス 動物病院 白鬼(以上)

大森醫學士 元氣で開業

今二十日から
赤十字本縣支部から第一次救護班長として白衣の天使廿七名を従へ病院船船隊に屬し北支から武漢に及ぶ砲彈雨下に傷病勇士のため活躍されてゐた平市南町醫學士大森勇氏は去る十七日平着で歸郷氣遣はれた病中にも似ず願ふ元氣で十八日縣支部へ報告昨十九日市内の官公署に挨拶を終り今日廿日から歸郷の傍ら從

七月四日 快晴

遊覽バスにて名所踏見學餘岡君同道案内役をつとめて呉れた、御好意感謝に堪えない。奉天：現在人口八十二萬餘、うち日本人十二萬を擁する滿洲一の商工都市であり、日露役に於ける兩軍の雄雄を決した屍山血河の基として、今又滿洲事

明朗北支建設に

平市田町出身 内藤 敏二
北支は若葉の候も過ぎて眞夏が訪れたやうです、今度平の通信有難く拜見致しました、小生等戦後の皆様に報ゆべく明朗北支建設に邁進して居ります、到るところ日章旗の翻らない所はありませぬ、右簡單ながら御禮と近況御知らせまでに申し上げます、早々

小窃盗検挙

宮城生の浮浪者
宮城縣登米郡豊里村住居住所不定無職中澤安治(三三)は去十六日平市田町を徘徊中舉行不審で引致取調られた其の結果同人は小窃盗で平検事局に數回取調を受けたことがあり本年五月三日小名濱町松の中農松本祐夫方に忍び衣頭反物を同日重ねて同地農小野安右工門方物置からリヤカー一台を窃盗せる旨自白した

危険燐寸の大箱

石城郡植田町の木田大工職吉田清は去る十七日朝平驛から歸郷の際マツチの大箱を石油の空箱に詰めて客車内に持ち込み植田驛に下車した八時過ぎ発見され鐵道違反(危險物)で

入山國婦の慰問 袋に兒童の作文

石城郡湯本町の入山炭礦國防婦人會では郷土部隊の將士に贈る慰問袋の中に入山小學校兒童一千四百餘名が綴つた作文を入れて戦後の覺悟と戦陣の程現地に於て發達した

満支の視察から (22)

本縣歸任 關内正一氏
變遷生の地として永遠にわが光輝ある歴史に大書せらるべき記念の地である。今奉天の沿革を見るに奉天は遠く渤海の時代を経て唐に至り、唐代には定州府と云ひ、遼、金は濼州と稱され元時代には濼陽府と云はれたが明朝の末期、愛親覺羅が吉林上流の牡丹江なる俄

病苦から溢死

石城郡好間村の北好間日曹平鑛業所坑夫永野忠義(五五)は一昨十八日午前九時頃居宅の勝手で溢死し平署の検視を受けたが永年の心臟病を苦にしたものらしい

幼兒を水の誘惑

石城郡上遠野村の浦小野藤(二二)は去る十七日午後三時頃居宅前の飯川で水泳中誤つて深淵にはまり溺死したまた同郡植田町の岩間大平金三(八八)は十六日正午頃同地飯川の川口で水泳中これも誤つて溺死したので植田署では各學校當局に水遊びの注意方を促した

舉動不審から

宮城縣登米郡豊里村住居住所不定無職中澤安治(三三)は去十六日平市田町を徘徊中舉行不審で引致取調られた其の結果同人は小窃盗で平検事局に數回取調を受けたことがあり本年五月三日小名濱町松の中農松本祐夫方に忍び衣頭反物を同日重ねて同地農小野安右工門方物置からリヤカー一台を窃盗せる旨自白した

袋に兒童の作文

石城郡湯本町の入山炭礦國防婦人會では郷土部隊の將士に贈る慰問袋の中に入山小學校兒童一千四百餘名が綴つた作文を入れて戦後の覺悟と戦陣の程現地に於て發達した

満支の視察から (22)

本縣歸任 關内正一氏
變遷生の地として永遠にわが光輝ある歴史に大書せらるべき記念の地である。今奉天の沿革を見るに奉天は遠く渤海の時代を経て唐に至り、唐代には定州府と云ひ、遼、金は濼州と稱され元時代には濼陽府と云はれたが明朝の末期、愛親覺羅が吉林上流の牡丹江なる俄

三仔園

貯蓄は無盡で
一歩一歩の山
社交を欲しむるめりち
無盡の財を今より
無盡 儲蓄無盡

文魁文堂

御誦の既録
電話 313番

御誦の既録

電話 313番

動勉にして經濟觀念に富んだ漢民族は沃地滿洲を見逃さず封禁の令を侵して洪水の如く押し寄せ、在來の滿州族と共に今日の奉天を造つたのであるがこの漢民族の滿州開拓前後して、北より露西亞、南より英國が虎視眈眈として迫つて來た日支條約により日本が遼東半島を占領したに對し露西亞は獨、佛を誘ひ所謂三國干涉によつて還付せしめ一八九六年のカシニ條約及び一八九八年の旅大租

